

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成29年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月日実施)	総合評価(月日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 進路実現のための精選された教育課程編成 相互交流が可能な教育課程の設定 主体的な学習習慣の涵養 	<p>事故のない成績処理体制を確立する。日常の授業を通して主体的な学習習慣と基礎学力が定着するよう、組織的な授業改善を支援する。新学習指導要領への対応を検討する。</p>	<p>成績処理に係る様式の統一化とマニュアルの検討を行い、成績処理が円滑に行えるようにする。普通科と美術科、あるいは、様々な教科の間での授業改善に向けての協力関係がより発展するよう支援する。関係するグループや学年および教科担当者同士の連携を支援する。新学習指導要領に示される教育内容を研究して、新しい教育課程の編成を検討する。</p>	<p>成績処理に係る様式の統一化とマニュアルの整備・改編を図ることで成績処理の点検を円滑に行えるようにし、事故のない成績処理体制を確立させることができたか。</p> <p>科や教科間での協力関係が発展するための機会を設定できたか。グループや学年、教科担当者の連携を支援するための機会を設定できたか。生徒の学習習慣や学力について、期待した効果が得られたか。</p> <p>新学習指導要領の研究、新しい教育課程の編成の検討が円滑に始められたか。</p>					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立 安全、安心の教育の推進 支援教育の推進 主体的な生徒会活動への支援 環境美化活動の推進 	<p>規範意識を育成するため、守るべき規則の明確化を図る。いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。支援体制を充実させるため教育相談体制をより充実させる。部活動の活性化を図る。</p>	<p>頭髪・服装等の身だしなみの指導に加え、授業に前向きに取り組ませる指導等を学校全体で統一する。県いじめ防止基本方針に基づき、いじめ案件が生じた場合は、適切に対応する。生徒に関する情報交換を密に行い、情報の共有化を図ることで、生徒指導にも適切に対応する。入部率を向上させ、定着させる。</p>	<p>生徒手帳に記載されている生活の心得を学校全体の指導として統一できたか。</p> <p>いじめ案件に対し組織的・適切な対応ができたか。</p> <p>情報共有により、生徒指導と教育相談が連携できたか。</p> <p>入部率が向上したか。</p>					

3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 多角的な視点を持ったキャリア教育の展開 生徒・保護者への情報提供と相談体制の確立 	<p>課題研究の内容と取組を向上させる。</p> <p>生徒向け進路ガイダンス、および保護者への情報提供の内容を充実させる。</p> <p>新制度入試、学びの基礎診断への対応を検討し、実践する。</p>	<p>研究課題の設定と研究方法・成果の発表の指導を行う。</p> <p>各学年の発達段階に応じた進路ガイダンスの設定と、保護者へのきめ細かな情報提供を行う。</p> <p>新入試制度、学びの基礎診断に関する情報収集と対応法の共有化を行う。</p>	<p>生徒自ら課題設定を行ったか。研究から発表まで、すべての生徒が取組めたか。</p> <p>発達段階に応じた必要な情報を生徒・保護者へ提供できたか。</p> <p>新入試制度、学びの基礎診断に関する情報共有とそれに対する対応を実施できたか。</p>					
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携し、新しい学科や学校の特色の浸透を図るとともに生徒の社会性を育成 地域との協働による幅の広い教育活動の展開 	<p>美術科を中心として行われる学校外活動など、学校の魅力や特色を中学生や地域・保護者に浸透させる。</p> <p>外部と連携した活動により生徒の社会性を高める。</p>	<p>広報活動の充実を図る。</p> <p>HPの充実を図る。</p> <p>地域での行事や外部講師を活用するとともに、学校運営協議会を通じた地域連携活動の可能性を探る。</p>	<p>学校説明会の日程や回数、形式、説明内容を改善できたか。来場者に満足してもらえたか。</p> <p>学校案内の内容を充実させられたか。</p> <p>HPの充実を図れたか。</p> <p>地域の行事に参加・作品出品できたか。</p> <p>外部講師を活用できたか。</p> <p>学校運営協議会を通じた地域連携活動の可能性を探れたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 全職員の共理解のもと人権に配慮した生徒への対応を実践 安全・安心な学校生活を送ることが出来る校内環境の整備 	<p>私費の見直し（徴収金額の再検討）を行う。</p> <p>様々な組織における職員の人権意識を向上させる。</p> <p>教員・生徒の防災意識を高める。</p>	<p>徴収金の状況を整理して、徴収金額の妥当性を検討する。</p> <p>人権をテーマとした話し合い、研修の機会を設定し、人権意識の向上を図る。</p> <p>災害図上訓練の研修会を教員・生徒対象に開催し、防災意識を高める。</p>	<p>徴収金の状況を整理できたか。金額の妥当性を検討できたか。</p> <p>人権をテーマとした話し合い、研修を通じて、人権意識が高まったか。</p> <p>訓練の実施により防災意識が向上したか。</p>					